

経営のヒント300 「オフィスおかん」知っていますか？

日本伝統の商い「富山の薬売り」

現代では、ヤクルトの訪問販売システム、そしてオフィスグリコ。

その中で、私個人的に興味をもっているビジネスモデルが「オフィスおかん」です。

三方善しの思想、いや四方善しかも？

どんな価値を誰に提供しているのか？

第1顧客＝社員さん

第2顧客＝企業経営者と総務担当者(社員の健康サポート・コミュニケーション促進・福利厚生・採用)

第3顧客＝仕事のパートナー(製造業者・納入業者・・・)

そして自社＝

下記、参考まで(ネット検索より)

仕事が忙しくて、ついつい食事を後回しにしてしまう。

ちょっとお腹が空くと、ついついお菓子を食べてしまう。

しかしそんな時、健康的で美味しいお惣菜がオフィスにあれば、簡単だし身体にも良い。

実はいま、オフィスに健康的で美味しいお惣菜を常備できるサービスが広がり始めている。

その名も「オフィスおかん」。オフィスでおかん(母)の味が楽しめるのだ。

料金は全て1品100円。

自社開発しているこだわりのお惣菜に加えて、ご飯やカレーなどをレンジで温めて食べることができる。

「オフィスおかん」だけで十分に心も体も満たされるランチが食べられるし、持参したお弁当にプラス1品…という使い方も。

専用冷蔵庫やボックスなどを設置すれば、お惣菜やごはん、容器、箸などはスタッフが補充してくれる便利なシステムだ。

社員の健康サポートはもちろんのこと、社員間のコミュニケーションや採用にも役立つという「オフィスおかん」。

現在、導入している6社に導入の目的や背景、導入後の効果を聞いた。

- ・従業員を大切にしたい会社というイメージにつながり、求職者からの評判も良い(情報・通信業)
- ・従業員満足度の向上が、サービス品質向上につながった(医療法人)
- ・従業員同士のコミュニケーション促進に役立った(サービス業)
- ・多忙なエンジニアの健康改善のために導入(情報・通信業)
- ・従業員の健康意識の向上、女性活躍支援にも役立った(ヘルスケア事業)
- ・24時間シフト勤務という特殊な環境でも活用できた(空運事業)